

平成 30 年度

技術本部成果発表会

昨年度の研究成果を多くの皆様にご報告し、JASA 技術本部の活動にご理解いただくことを目的に成果発表会を開催いたします。

発表会后、発表者・技術本部委員との交流を深めていただくため、交流会をご用意いたしました。お申込みは先着順ですので、お早目のお申込みをお待ちしております。

日 時 平成 30 年 5 月 10 日 (木) 受付開始 11:20～ (受付にてお名刺を 1 枚ご提出下さい。)

発表会 11:50～16:55 / 交流会 : 17:30～19:30

場 所 発表会 : TKP 東京日本橋カンファレンスセンター ホール 5B

東京都中央区八重洲 1-2-16 TG ビル 別館

[map] <https://www.kashikaigishitsu.net/facilitys/cc-tokyo-nihombashi/>

交流会 : 地鶏匠

<https://tabelog.com/tokyo/A1302/A130202/13210189/>

参加費 発表会 : 無料

交流会 : 会員 3,500 円/人(税込) 一般 4,000 円/人(税込)

*参加費は発表会の受付で現金にてお支払いいただきます(領収書を発行いたします)。

H30 年 発表プログラム	11:50	～	11:55	開会あいさつ
	11:55	～	12:15	【安全性向上委員会】安全仕様化 WG
	12:15	～	12:35	【安全性向上委員会】ロボット安全WG
	12:35	～	12:55	【安全性向上委員会】情報セキュリティWG
	12:55	～	13:15	【アジャイル】
	13:25	～	13:45	【応用技術調査委員会】ロボティクスWG (プラットフォーム WG)
	13:45	～	14:05	【応用技術調査委員会】OSS 活用WG
	14:05	～	14:25	【応用技術調査委員会】状態遷移設計研究WG
	14:25	～	14:45	【ハードウェア委員会】
	14:55	～	15:15	【IoT 技術高度化委員会】ドローンWG
	15:15	～	15:35	【IoT 技術高度化委員会】エモーションWG
	15:35	～	15:55	【IoT 技術高度化委員会】エネルギーハーベスティングWG
	15:55	～	16:15	【IoT 技術高度化委員会】組込み IoT モデリングWG
	16:25	～	16:40	IPA
	16:40	～	16:55	都産技研

お 申 込 方 法 : Web フォームにて受付しております。

Web 申し込フォーム <https://goo.gl/forms/u5tsldPz8IJ8zcqS2>

問 合 せ 先 : JASA 本部事務局 樋口宛 TEL:03-5643-0211 E-mail: higuchi@jasa.or.jp

【 締 切 り 】 満席になり次第、締め切らせていただきます。お早めにお申込みください。

安全仕様化WG	講演者氏名 能登 祐二
「STAMP/STPAを安全誘導型設計に活用する試み」-IPA WGとの連携成果として-	
安全誘導型設計を重点課題とする活動の推移、特徴、活動成果を報告し、電動アシスト自転車を題材とする試行事例を紹介する。事例では、IPA WGとの連携に基づいて、ハザード分析にSTAMP/STPA手法を適用したので、その分析の流れを解説する。	
情報セキュリティWG	講演者氏名 牧野 進二
組込み開発におけるセキュリティ設計の啓発 セキュリティbyデザインを進めるための脆弱性の見える化	
情報セキュリティWGでのセキュリティ啓発活動を通じて、セキュリティbyデザインを現場技術者に促進するために、脅威分析、脆弱性分析の要点を解説する。 セキュリティ啓発を促進するため、脆弱性の見える化を行い、セキュリティの大切さを現場技術者の理解を促進し、上流設計でのセキュリティ設計の認知をさせる。 認証、追跡などを強化するため、Block chainを使った実証実験の構想を説明し、PKI認証の組込み開発での応用についても解説する。	
アジャイル研究会	講演者氏名 秋谷 勤
アジャイルと派生開発手法の活用による開発改善について	
アジャイル研究会では『アジャイルな考え方』を実践し、自分たちの開発の問題点を見つけその改善を進めてきた。 今回は問題点の解決策として派生開発推進協議会中部支部と連携し、開発改善を行った経験をご紹介します。	
ロボティクスWG(プラットフォームWG)	講演者氏名 古俣 学
プラットフォームWG活動報告 生活支援ロボットの仕様	
ロボットのモータ制御やセンサ等のデバイス入出力ソフトウェア・インタフェースの国際標準化に向けたOpenEL(Open Embedded Library)使用事例として、次世代の生活支援ロボットのプラットフォーム搭載について報告する。	
OSS活用WG	講演者氏名 竹岡尚三
ロボット、機械学習AI OSSの紹介とOSSの品質についてのアプローチ	
オープンソースソフトウェア(OSS)は無償で利用できるソフトウェアである。高度なロボットやドローンをつくり上げることができる大規模なOSSミドルウェアが、自動運転、ロボットなどで使用されている。また、人工知能(AI)ソフトウェアもOSSが多数ある。それらの大規模OSSミドルウェアの紹介を行う。また、当WGでは、OSSの品質評価について取り組んでおり、そのアプローチと2016,2017年度の成果について述べる。	
状態遷移設計研究WG	講演者氏名 青木 奈央
状態遷移設計研究WGの活動報告	
レガシーコードの蘇生術、リバースモデリングツールRExSTMの進捗 状態遷移設計研究WGで2014年度から過去3年間にわたり議論、開発をしてきたリバースモデリングツールの活動とリリースに向けた取り組みの報告	

ハードウェア委員会	講演者氏名 碓山 真悟
IoT時代に於けるハードウェア技術者の役割の広がり	
<p>当委員会はJASAで唯一のハードウェア専門の部隊として、いまハードウェア技術者が抱えている課題を対象にして活動している。特に人材育成を大きなテーマに掲げて、これからのIoT時代に於いてはハードウェア技術者からものづくり技術者へのステージアップが重要であると考えている。</p> <p>現在、JASAロボットに搭載するセンサー基板の開発を手掛けているが、このプロジェクトを通して何をしたいかを発表する。</p>	
ドローンWG	講演者氏名 小林 康博
「移動するIoT」をドローンで実現する為に～利活用のユースケースを考えた無線の実証実験～	
<p>移動しながら繋がる「移動するIoT」をドローンで実現するべく、実際のユースケースを元に産業用ドローンのスペック(仮)を導き出した。</p> <p>その中で見えてきた無線通信の課題とは？</p> <p>今回、業界団体であるモバイルコンピューティング推進コンソーシアム(MCPC)とタッグを組み、無線通信のあるべき姿について、実際に横須賀ドローンフィールドでの検証結果について報告する。</p>	
エモーションWG	講演者氏名 國井雄介
スマートライフにおけるエモーションデータの活用検討ーCOMMAハウス デモ事例紹介	
<p>エモーションワーキンググループでは、「感情とIoTの融合」という切り口で、エモーション(感情)活用したサービスモデルの検討などを行っている。</p> <p>17年度の活動を通じ、様々な団体と連携する機会を頂き、活動の幅を広げてきた。</p> <p>本セミナーでは、エモーションワーキンググループ17年度の活動実績の紹介と共に、東大RC88との連携で行っているCOMMAハウス(スマートハウス)でのデモ事例を紹介する。</p>	
エネルギーハーベスティングWG	講演者氏名 富岡 理
IoTの電力を担うエネルギーハーベスティングの可能性と課題	
<p>センサーノードやエッジデバイスの電源問題の解決に期待されるエネルギーハーベスティング。ミリワットやマイクロワットオーダーの電力を上手に利用するための技術概要を述べる。</p> <p>実用化に対する課題も多いが、JASAや組込みとの親和性や類似性の観点から、近い将来への展望と期待を語りたい。</p>	
IoT組込みモデリングWG	講演者氏名 渡辺 博之
IoTサービスのモデリングと、その効果および活用のポイント	
<p>当WGでは、従来の技術主導型のモデルではなく、IoT時代に必要な、ビジネスやリスクを検討するための「合意形成、説明責任」主導型のモデルを調査している。</p> <p>今回の講演では、これまで半年間実施してきた当WGの活動内容と、その中で定義した「合意形成、説明責任」主導のモデルや手法、さらにはそれらを実際のIoTサービスに適用することで得られたメリットや活用する上のポイントなどを中心に紹介する。</p>	